

市民からの意見や提案などをシリーズ（不定期）で紹介します。※市報などでの公開に同意したものを掲載。市ウェブサイト（「市民の声」で検索）でもご覧いただけます

**納骨堂の設置について**

**【意見・提案など】**

納骨堂を南魚沼市に作っていたきたいです。

私は3年前に妻を病気で亡くしました。今は南魚沼市に家を建てて住んでいます。子どもは独立して関東に住んでいます。私が亡くなれば、お墓を購入しても墓守がいまません。私のような状況の人がこれから増えてきます。

また、過疎化により墓守がいなかったために、先祖からのお墓を処分しなければならぬ人もたくさんいます。南魚沼市の家族構成を確認していただけだと思います。都会では納骨堂が足りない状況で

す。南魚沼市の財政にプラスになると思います。ぜひともご検討をお願いいたします。（令和元年11月）

**【市からの返事】**

市では、市営の納骨堂を南魚沼市斎場の敷地内に設置しています。相続人や引取者のいない死亡人の遺骨の保管を目的として、保管から20年経過後に適正に処理（合祀）することとしています。しかしながら、この納骨堂は、いわゆる永代供養を目的とした納骨堂ではなく、先述の目的のとおり、やむを得ず遺骨を市が保管する場合に用いる施設となっております。

ご意見をいただいた納骨堂は、永代供養をするためのだけでも利用可能な墳墓（以下、「永代供養墓」）だと思われれます。

現在、市営の墓地や永代供養墓などはありません。しかし、市営墓地の設置を望む声が少なからずあります。また、将来的にはご遺族が日常的に管理をする必要のない永代供養墓の需要が高まることも予想されます。

市としては、市内墓地の状況や

市民の需要、設置効果などを十分に考慮したうえで、市営墓地の設置を優先に、永代供養墓の設置についても検討を進めていきます。（担当：環境交通課）

（担当：環境交通課）

**国道291号の拡幅について**

**【意見・提案など】**

南魚沼生まれで東京暮らしの後、Uターンして市民になりました。買い物も、駅や市役所に行くのもひたすら歩くほかなく、いつも国道291号の道路の狭さに恐怖を抱いています。

地元の人たちは車が当たり前で、徒歩の人を（学童は別に保護されているが）変人扱いのごとく、スピードを緩めず肩すれすれに走行しています。雁木通りに入るまでは、数10センチしかない歩道に命がけです。雪道になったら超危険です。道路拡幅をしてほしい。高齢ですが納税者です。若者、子どもばかりを優先しないでください。免許返納者だけ特典があり不満です。（令和元年11月）

**【市からの返事】**

国道291号の泉田入口付近から六日町小学校入口付近まで（以下、本区間）は、六日町小学校の指定通学路になっていますが、歩道がなく幅員も狭く危険なため、地元行政区からも歩道整備などの要望が出されています。

このため市は、国道291号の道路管理者である新潟県（南魚沼地域振興局）に道路改良を要望してきましたが、道路の拡幅工事に伴い移転が必要となる建物が多いことなどから、道路改良の事業化は極めて困難であると回答を得ています。

新潟県は現在、本区間の交通量減少を目的の一つとして、市営西泉田住宅の南側に国道291号バイパスを新設する事業を実施していますが、今後も引き続き新潟県に本区間の改良要望を行っていきます。

降雪期の徒歩による移動が難しい場合には、市民バスや路線バスなどの公共交通機関の利用もご検討ください。（担当：建設課）